

事務の管理及び執行状況
の点検・評価実施報告書
(平成26年度実績)

平成28年2月
由利本荘市教育委員会

目 次

1	点検・評価の趣旨等	1
2	点検及び評価の概要	1
3	学識経験者の知見の活用	1
4	教育委員会の活動状況	2
	（1）会議の開催状況	
	（2）教育委員の活動状況	
	（3）計画の策定状況	
	（4）市民への情報提供の状況	
5	主要施策・事業等の実施状況と評価	5
	【学校教育部門】	
	（1）確かな学力の形成	5
	（2）開かれた学校づくり	7
	【社会教育部門】	
	（1）読書の大切さの啓発と読書活動の推進	8
	（2）生涯学習・社会教育・公民館活動の推進	9
	（3）社会教育施設の管理運営	10
	【スポーツ振興部門】	
	（1）生涯スポーツ・レクリエーション・体力づくりの推進	11
	（2）指導者の養成	12
	（3）スポーツ施設の整備充実	13
	（4）プロスポーツチームへの支援とチームとの連携による スポーツ振興	14
	【文化振興部門】	
	（1）芸術文化の推進	15
	（2）文化財保護と活用の推進	17
	（3）文化施設の運営	18
	【教育環境整備部門】	
	学校施設の整備	20

1 点検・評価の趣旨等

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、「教育委員会の責任体制の明確化」を目的として、同法第26条に「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等」が規定されました。

この規定に基づき、平成20年4月から、全ての自治体の教育委員会自らが、毎年、その教育行政事務の管理及び執行状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、これを公表することが義務づけられました。

由利本荘市教育委員会においては、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、平成21年度（20年度実績）から事業の点検及び評価を実施し、報告書にまとめ、議会に提出するとともに公表しております。

今年度においても、同法の趣旨を踏まえ、各教育分野の施策及び重点事業等の執行状況について点検及び評価を行い、今後、より効率的な教育行政の推進を図っていくものです。

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に関する事務（同条第4項の規定により事務局職員に委任された事務を含む。）を含む）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検及び評価の概要

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条」で、教育委員会の職務権限とされている事務のほか、教育委員会で所管するすべての事務を対象としますが、点検・評価にあたっては、「由利本荘市の教育」に掲げる施策を13項目20事業に集約し、実施しております。

3 学識経験者の知見の活用

学識経験を有する者の知見の活用について、本市教育委員会では、由利本荘市社会教育委員の会会長の伊藤孝紀氏、由利本荘市PTA連合会副会長の鈴木百合子氏にご意見をいただいております。

4. 教育委員会の活動状況

(1) 会議の開催状況

期 日	付 議 案 件
H26. 4. 25 (定例会)	議案第18号 由利本荘市社会教育委員の委嘱について 議案第19号 由利本荘市公民館運営審議会委員の委嘱について 議案第20号 由利本荘市文化財保護審議会委員の委嘱について 協 議 ・大内中学校の校歌制作者の選定について
H26. 5. 19 (定例会)	議案第21号 由利本荘市立小学校統廃合による学校の選定及びその時期について 議案第22号 由利本荘市プール条例の一部改正について 議案第23号 由利本荘市プール条例施行規則の一部改正について 議案第24号 由利本荘市児童生徒就学指導委員会委員の委嘱について 議案第25号 由利本荘市ボートプラザ運営委員会委員の委嘱について
H26. 6. 30 (定例会)	議案第26号 由利本荘市教育委員会委員の議席指定について 議案第27号 由利本荘市教育委員会委員長の選挙について 議案第28号 由利本荘市教育委員会委員長職務代理者の互選について 議案第29号 学校運営協議会を設置する学校の指定について 議案第30号 由利本荘市ボートプラザ運営委員会委員の委嘱について 報 告 ・6月定例市議会の一般質問答弁概要
H26. 7. 30 (定例会)	報 告 ・子ども・子育て支援新制度の施行にむけての状況報告について
H26. 8. 26 (協議会)	協 議 ・本荘北中学校生徒行方不明事案について
H26. 9. 29 (定例会)	議案第31号 由利本荘市立幼稚園管理規則の一部改正について 議案第32号 物品（大内統合中学校小型スクールバス）購入契約の締結について 議案第33号 学校運営協議会を設置する学校の指定について 議案第34号 小学校教科用図書採択について 報 告 1 9月定例市議会の一般質問答弁概要 2 大内中学校の校歌・校章について
H26. 10. 24 (定例会)	議案第35号 東由利中学校改築工事（建築主体）請負変更契約の締結について 報 告 ・子ども・子育て支援新制度について
H26. 11. 18 (定例会)	議案第36号 学校運営協議会を設置する学校の指定について 議案第37号 公の施設の指定管理者の指定について 議案第38号 平成27年度由利本荘市立小・中学校教職員人事異動方針について
H26. 12. 22 (定例会)	議案第39号 学校運営協議会を設置する学校の指定について 報 告 1 12月定例市議会の一般質問答弁概要 2 大内地域の小・中学校統合について 3 子ども・子育て支援新制度（由利本荘市保育料）（案）について

H27. 1. 26 (定例会)	議案第 1 号 議案第 2 号 議案第 3 号 議案第 4 号 議案第 5 号 議案第 6 号 議案第 7 号 議案第 8 号	大内地域小学校の統合による学校名制定について 由利本荘市立学校設置条例の一部改正について 由利本荘市教職員住宅条例の一部改正について 由利本荘市立幼稚園給食費等徴収条例の制定について 由利本荘市幼稚園預かり保育料徴収条例の全部改正について 由利本荘市 B & G 海洋センター条例の一部改正について 由利本荘市立小中学校通学区域に関する規則の一部改正について 学校運営協議会を設置する学校の指定について
H27. 2. 5 (臨時会)	議案第 9 号	由利本荘市立幼稚園保育料徴収条例の一部改正について
H27. 2. 27 (定例会)	議案第10号 議案第11号 議案第12号 議案第13号 議案第14号 議案第15号	由利本荘市立小中学校管理規則の一部改正について 由利本荘市立幼稚園管理規則の一部改正について 学校運営協議会を設置する学校の指定について 由利本荘市指定文化財の指定について 事務の管理及び執行状況の点検・評価実施報告書〈平成25年度実績〉(案) について 平成26年度末由利本荘市立小中学校教職員の人事異動について
H27. 3. 27 (定例会)	議案第16号 議案第17号 議案第18号 議案第19号 議案第20号 議案第21号 議案第22号 議案第23号 議案第24号 議案第25号 議案第26号 議案第27号 議案第28号 議案第29号 議案第30号 報 告	平成27年3月31日付由利本荘市教育委員会職員の人事異動について 平成27年4月1日付由利本荘市教育委員会職員の人事異動について 平成27年度「由利本荘市の教育」について 平成27年度教育費予算について 由利本荘市教育委員会会議規則等の一部改正について 由利本荘市教育委員会事務局組織規則の一部改正について 由利本荘市教育長の職務代行者を定める規則の廃止について 由利本荘市立幼稚園給食費等徴収条例施行規則の制定について 由利本荘市立幼稚園一時預かり保育料徴収条例施行規則の制定について 由利本荘市幼稚園預かり保育規則の廃止について 学校運営協議会を設置する学校の指定について 第 3 次由利本荘市生涯学習推進・社会教育中期計画について 由利本荘市図書館協議会委員の委嘱について 由利本荘市スポーツ推進委員の委嘱について 由利本荘市資料館協議会委員の委嘱について ・ 3 月定例市議会的一般質問答弁概要について

(2) 教育委員の活動状況

①学校訪問

月 日	訪 問 校	月 日	訪 問 校
6月18日	新山小	10月29日	由利小
6月23日	上川大内小・下川大内小	10月30日	鳥海小
6月24日	子吉小・岩谷小	11月 5日	石沢小
6月25日	東由利小・東由利中	11月 6日	東由利小
6月26日	本荘北中・小友小	11月11日	子吉小・矢島小
6月27日	矢島小	11月12日	本荘北中
7月 4日	矢島中・由利中	11月13日	西目中
7月 7日	鳥海小・鳥海中		
7月 8日	尾崎小・本荘東中		
7月 9日	鶴舞小・本荘南中		
7月10日	大内中・出羽中		
7月14日	由利中・石沢小		
7月15日	西目幼稚園・西目中		
7月17日	岩城小・岩城中		
7月18日	西目小		
10月21日	鶴舞小・本荘南中		
10月22日	尾崎小・本荘東中		

②諸会議・研修等

月 日	会 議 名 等	場 所
4月17日 18日	東北都市教育長協議会定期総会	青森県五所川原市 (サンルートイン五所川原)
5月26日	全州市町村教育委員会委員長・教育長会議	秋田県総合教育センター
8月27日	秋田県市町村教育委員会連合会及び秋田県都市教育長協議会合同研修会	秋田県生涯学習センター
11月27日	全州市町村教育委員会委員長・教育長会議	秋田県庁第2庁舎

(3) 計画の策定状況

- ・第3次由利本荘市生涯学習推進・社会教育中期計画……平成27年3月策定

(4) 市民への情報提供の状況

- ・市広報及び市ホームページを活用して情報を提供している。

		分野	学校教育部門
項目	(2)開かれた学校づくり	担当課	学校教育課
点検・評価対象事業名	コミュニティ・スクール		
事業の目的	<p>○学校経営に地域の願いを大きく取り入れ、学校運営の方針について学校運営協議会の承認を得るとともに、学校・家庭・地域が学校の現状と課題について共通理解を深めて相互連携し、学校経営の改善への協力を促進し、学校・家庭・地域が一体となった開かれた学校づくりに資する。</p>		
事業の実施状況	<p>○市内26小・中学校の学校運営協議会の設置 ○各学校運営協議会での学校における具体的な目標の検討 ○目標と具体的方策の周知 ○各学校における自己評価 ○学校関係者評価委員による評価の実施 ○結果の公表</p>		
点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる	
	<p>○学校運営協議会は、統合を控えた大内中学校以外の25校が平成26年度中に発足し、コミュニティ・スクールとして歩み始めることができた。その協議会の中であきた型学校評価システムも実施されており、各小・中学校ではPDCAサイクルで評価をおこなっている。学校運営協議会では、それぞれの立場から意見を述べ、学校の運営に参画するとともに評価している。</p> <p>○具体的な目標、方策、評価、改善点等が、地域や保護者に公表されることで、地域に根ざした教育活動の推進につながっている。</p>		
今後の課題及び改善策・方向性	<p>○平成27年度中に、全小・中学校をコミュニティ・スクールに指定し、学校運営の基本方針の承認や教育活動に意見を述べたりする「学校運営協議会」を機能させて地域とともにある学校づくりを更に充実させる。</p> <p>方向性：学校運営協議会（コミュニティ・スクール）への充実に向けて</p> <ol style="list-style-type: none"> ①学校評議員を学校運営協議会委員へ移行 ②学校関係者評価委員を学校運営協議会委員へ移行 ③学校支援地域本部事業の全小中学校への拡大 		
学識経験者の意見	<p>○全小中学校で、コミュニティ・スクールに向けて歩み出したことは、教育の一環性、統一性の観点から意義深い。</p> <p>○コミュニティ・スクールの指定推進にあたり、地域住民の意見が学校運営に反映されることは大きな意義がある。地域とともにある学校づくりを一層推進してほしい。</p> <p>○各小中学校が手探りの状態でスタートしているが、今後、全市的に共通認識を図りながら、他校の事例紹介等の情報交換の場が必要と思う。</p>		

		分 野	社会教育部門																								
項 目	(1)読書の大切さの啓発と読書活動の推進	担 当 課	生涯学習課																								
点検・評価対象事業名	子どもの読書活動推進事業																										
事業の目的	<p>○子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるために、家庭、地域、保育園、幼稚園や学校と連携し、相互に協力を図りながら市民全体への啓発活動に取り組む。 「由利本荘市子どもの読書活動推進会議」と連携し、全ての地域での読み聞かせ事業を展開しながら子ども読書、親子読書の活動を推進する。</p>																										
事業の実施状況	<p>○会議・研修会等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年 6月26日 第1回子ども読書活動推進会議 ・平成26年 7月 7日 子ども読書活動推進会議研修部会 ・平成26年 9月 2日 「おはなしフェスティバル」出演団体打ち合わせ ・平成26年 9月 5日 子ども読書活動推進会議広報部会 ・平成26年11月13日 子ども読書活動推進会議ボランティア部会 ・平成27年 3月17日 子ども読書活動推進会議年度末会議 <p>○事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年 4月24日 「心にとどけスマイル便第7号」発行 ・平成26年 9月27日 「おはなしフェスティバル」開催（出演8団体） ・平成26年10月19日 国民文化祭協賛イベント「高橋宏幸賞」授賞式 ・平成27年 1月 6日 読み聞かせ・学校図書館ボランティア等交流研修会 ・平成27年 3月 6日 「心にとどけスマイル便第8号」発行 <p>○読み聞かせボランティア派遣</p> <table border="0"> <tr> <td>・平成26年 7月 3日</td> <td>ゆり養護学校</td> <td>・平成26年 9月 1日</td> <td>ゆり養護学校</td> </tr> <tr> <td>・平成26年 9月30日</td> <td>永慶保育園</td> <td>・平成26年10月30日</td> <td>本荘保育園</td> </tr> <tr> <td>・平成26年11月10日</td> <td>ゆり養護学校</td> <td>・平成26年11月18日</td> <td>小友保育園</td> </tr> <tr> <td>・平成26年11月28日</td> <td>由利小学校</td> <td>・平成26年12月12日</td> <td>石脇東保育園</td> </tr> <tr> <td>・平成26年12月17日</td> <td>本荘保育園</td> <td>・平成27年 1月14日</td> <td>本荘北保育園</td> </tr> <tr> <td>・平成27年 1月23日</td> <td>矢島保育園</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			・平成26年 7月 3日	ゆり養護学校	・平成26年 9月 1日	ゆり養護学校	・平成26年 9月30日	永慶保育園	・平成26年10月30日	本荘保育園	・平成26年11月10日	ゆり養護学校	・平成26年11月18日	小友保育園	・平成26年11月28日	由利小学校	・平成26年12月12日	石脇東保育園	・平成26年12月17日	本荘保育園	・平成27年 1月14日	本荘北保育園	・平成27年 1月23日	矢島保育園		
・平成26年 7月 3日	ゆり養護学校	・平成26年 9月 1日	ゆり養護学校																								
・平成26年 9月30日	永慶保育園	・平成26年10月30日	本荘保育園																								
・平成26年11月10日	ゆり養護学校	・平成26年11月18日	小友保育園																								
・平成26年11月28日	由利小学校	・平成26年12月12日	石脇東保育園																								
・平成26年12月17日	本荘保育園	・平成27年 1月14日	本荘北保育園																								
・平成27年 1月23日	矢島保育園																										
点 検 評 価 及 び 説 明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる																										
<p>○子どもの読書活動推進会議で検討し、企画・立案された諸事業や計画を実施することができた。</p> <p>○読み聞かせボランティアの活動については、新たな参加者がみられ広がりを感じる。また、地域読み聞かせボランティアに直接依頼しての活動が充実してきている。</p> <p>○国文祭協賛事業も計画どおりに開催することができた。</p>																											
今後の課題及び 改善策・方向性	<p>○「心にとどけスマイル便」第7号・8号を発刊した。これまで図書館の紹介が多かったため、8号ではページ数を増やし学校図書館や学校の読書活動も紹介した。</p> <p>○各ボランティア団体の協力を得てボランティア名簿を更新した。会員が大幅に代わった団体もあり今後生かせる。</p> <p>○中学校や高校で読書活動推進に取り組んでいるところがあるので、学校とも連携していきたい。</p>																										
学識経験者の意見	<p>○「心にとどけスマイル便」の学校図書館紹介コーナーは、中央図書館と学校との連携を図る上で意義深い。それぞれが連携して読書活動推進を継続してほしい。</p> <p>○読み聞かせボランティアの派遣回数が増え、参加者も多く活動が充実していることは評価できる。</p> <p>○子どもと親と一緒に読書に興味を持つことは意義深い。ゲーム機から本へ親しむ時間の増加が期待できる。</p> <p>○読書は、文章読解力の向上に結びつくことであり、引き続き推進してほしい。</p>																										

		分野	社会教育部門
項目	(2)生涯学習・社会教育・公民館活動の推進	担当課	生涯学習課
点検・評価対象事業名		・学社連携・融合の推進事業	
事業の目的		○地域社会全体で子どもたちを育むことを目的に、子どもの学習支援を中心に各機関・団体・学校等との連携を深め、ボランティア等地域の人材の活用を積極的に図りながら地域の教育力の向上を図る。	
事業の実施状況		○放課後子ども教室の実施（文部科学省補助事業：国・県・市各1/3負担） <ul style="list-style-type: none"> ・放課後の子どもの安心・安全な居場所として、学習を中心とした活動を実施。 ・市内全小学校15校（15教室）で通年開設。 ・延べ開催回数 1,231回、延べ参加児童数 40,374人、延べスタッフ数 3,451人 ・事業費総額 5,796千円 ○学校支援地域本部事業（文部科学省の補助事業：国・県・市各1/3負担） <ul style="list-style-type: none"> ・鳥海小学校本部、出羽中学校本部、矢島小学校本部、下川大内小学校本部の4本部を設置。 ・学習支援、環境整備、安全確保、図書ボランティア、学校行事などに地域住民が積極的に参画し学校の活動を支援。 ・事業費総額 945千円 	
点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる	
今後の課題及び改善策・方向性		○放課後子ども教室推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・全ての小学校区で実施でき、各教室ともコーディネーター、教育活動サポーターの協力により、学習・体験・遊びなど様々な取り組みができた。学校統合や児童数の減少により、実施回数、参加児童数は25年度を若干下回った。 ○学校支援地域本部事業 <ul style="list-style-type: none"> ・3地域4本部での実施で、国・県・市が1/3ずつの補助事業である。学校の要請を受け地域コーディネーターと学校支援ボランティアが連携し、学習・環境整備・学校行事等を支援することができた。 	
学識経験者の意見		○放課後子ども教室は、共働きの家庭にとって助かり、子どもの安心・安全な居場所づくりとして有意義な事業であり、活動内容等を工夫しながら引き続き実施してほしい。市内全小学校で実施していることも評価できる。 ○学校支援地域本部事業は、学校の負担軽減にもつながり、全中学校区での実施は意義深く感じる。 ○コーディネーターやボランティアの人材確保と育成に努めていただきたい。	

		分野	社会教育部門
項目	(3)社会教育施設の管理運営	担当課	生涯学習課
点検・評価対象事業名		・社会教育関係施設の整備事業	
事業の目的		<p>○市民にとって身近な公民館等の社会教育関係施設の維持管理と整備を図る。</p> <p>○災害発生時の拠点となる施設について、耐震改修を進める。</p>	
事業の実施状況		<p>○アクアパル改修事業（アトリウム出入り口、ウッドデッキ改修） 57,525千円</p> <p>○南内越公民館耐震改修事業 8,143千円</p> <p>○大内環境改善センター太陽光発電システム整備事業 36,764千円</p> <p>○由利善隣館外壁等改修事業 22,680千円</p> <p>○アクアパル ナックルフォア艇更新事業 7,471千円</p> <p>○上記のほか、修繕多数実施。</p>	
点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる	
<p>○老朽化の進んだ社会教育関係施設の改修事業等を実施することができた。</p> <p>○災害時の拠点となる施設について耐震改修が進んだ。</p> <p>○平成29年に本市で行われる「全国市町村交流レガッタ」に向け、主会場となるアクアパルの改修及び競技艇の更新が進んだ。（艇の更新は26年度で完了。改修工事は27年度で完了。救難・指導用モーターボートを27年度に配備。）</p>			
今後の課題及び改善策・方向性		<p>○耐震診断・耐震補強は平成26年度で完了。</p> <p>○各施設において、経年劣化により大規模な修繕が必要となってきたことから、緊急性や市民サービス向上を考慮しながら対応していく。</p>	
学識経験者の意見		<p>○予定通り、工事が進められ完成に至ったことは評価できる。</p> <p>○今後も改修が必要な施設は、緊急度や市民の安全性を第一にサービスの向上を考慮しながら対応してほしい。</p> <p>○計画的な修繕整備に努めていただきたい。</p>	

		分野	スポーツ振興部門
項目	(1) 生涯スポーツ・レクリエーション・体力づくりの推進	担当課	スポーツ課
点検・評価対象事業名	・各種スポーツ教室、スポーツ大会開催事業		
事業の目的	○生涯スポーツとレクリエーション活動の普及のため、全市またはブロック単位で各種スポーツ教室やスポーツ大会を開催し、市民のスポーツ振興を図る。		
事業の実施状況	<p>○チャレンジデーへの参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対戦相手：山梨県甲斐市 参加者数57,607人、参加率69.4% <p>○水林球場リニューアル記念事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イースタン・リーグ公式戦「東北楽天 対 千葉ロッテ」8/3 観客者数1,636人、 <p>○スポーツ教室の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地域各スポーツ教室 3,733人 ・遊泳館水泳教室（水泳・アクアビクス・水中ウォーキング・ベビースイミング）年間参加者合計 945人 <p>○市民スポーツ・レクリエーション大会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・300歳以上ソフトボール大会：14チーム、・水辺駅伝競走大会：18チーム、 ・男女混合バレーボール大会：16チーム、・市ユニホック大会：13チーム、 ・クロスカントリーレース：427名 <p>○地域間交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奥羽横断駅伝競走大会：29(1)チーム、秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン：29(1)チーム、全国市町村交流レガッタ大会：117(7)クルー、いわきサンシャインマラソン：10,396(2)名、横荘線メモリーウォーキング：102(51)名、ほか各教育学習課による連携事業の開催 		
点検評価及び説明	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる		
	○スポーツ推進委員と連携し各種スポーツ教室の開催により、子供から高齢者までの活動を推進するとともに、競技団体との連携による大会運営等、市民のスポーツ活動の推進に積極的に努めた。		
今後の課題及び改善策・方向性	○各地域で開催されるスポーツ教室や大会等を、複数地域でのブロック開催の検討や、より多くの市民がスポーツに親しめるような環境整備を図る。 ○全市を対象とした大会が、本荘地域からの参加が中心となっているため、各教育学習課を通じ各地域からの参加を促す。		
学識経験者の意見	○合併後10年が経過したので、市民が一体感を感じられるような全市的な大会の開催を期待したい。本荘地域以外からの参加を周知することにより、次回から参加が増えると感じる。 ○より多くの人に参加してもらえよう、情報発信に努めてほしい。 ○ミニチャレンジデーは、全体に波及できていないように感じるのでPRに努めてほしい。		

	分 野	スポーツ振興部門
項 目	(2) 指導者の養成	担 当 課 スポーツ課
点検・評価対象事業名	・指導者の養成と資質の向上のための事業	
事業の目的	<p>○体育協会加盟団体においては、各競技の普及・拡大を図るため、競技団体が主体的にジュニア層の育成強化や指導者の養成を行いながら、競技の持続的な発展に結びつける。</p> <p>○スポーツ少年団員を安全かつ適正に指導してもらうため、認定員養成講習会を開催し、指導者の資質の向上を図りながら指導者と保護者が共通した認識のもとで団活動を推進していく体制整備を行う。</p>	
事業の実施状況	<p>○スポーツ少年団認定員養成講習会の開催 6/28～29 西目会場受講者97名（年度合計受講者145名） 【由利本荘市・にかほ市スポーツ少年団連絡協議会事業】</p> <p>○スポーツ少年団指導者研修会・安全講習会の開催・・・70名 12月21日 講演：「スポーツにおける真の勝利」 ～暴力に頼らない指導～ 講師：虎ノ門協同法律事務所 望月 浩一郎 氏</p>	
点 検 評 価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり
及 び 説 明	<input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる
	<p>○認定員養成講習会を開催し、指導者と保護者が共通した認識のもとで、円滑な団活動ができるように推進した。</p> <p>○スポーツ指導現場での体罰、暴力根絶に向け、適正な指導を行ってもらうための講習会を実施したことで、これまでの指導方法を見つめ直す機会となった。</p>	
今後の課題及び改善策・方向性	<p>○継続して認定員養成講習会を実施し、指導者並びに保護者が少年期のスポーツ活動について共通した認識を持った上で、適正な活動を継続していく。</p> <p>○指導者連絡協議会を開催し、活動の指針等の確認を継続して行う。</p> <p>○生涯スポーツ推進のためにも、スポーツ推進委員が研修会等に参加できる環境整備に努める。</p>	
学識経験者の意見	<p>○スポーツ少年団指導者と保護者の共通認識を持ち、適正な活動を推進するためにも研修会を開催することは大変意義ある。また、体罰、暴力の根絶は重要であり、継続してほしい。</p> <p>○指導者には、心の面での指導も望まれる。勝敗に拘らず、人間性の育成に重点をおくよう多くの指導者に受講していただきたい。</p>	

		分野	スポーツ振興部門
項目	(3) スポーツ施設の整備 充実	担当課	スポーツ課
点検・評価対象事業名	・既存体育施設の改修整備		
事業の目的	○スポーツ・レクリエーション活動の拠点となるスポーツ施設の整備を図り、市民に運動の場を提供し、その有効利用を促進する。		
事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ課 90,802千円 (旧勤労青少年ホーム解体工事：49,061千円 コミュニティ体育館外構整備工事：41,741千円) ・岩城教育学習課 4,153千円 (高城体育館トイレ新築工事) ・東由利教育学習課 2,646千円 (東由利野球場改修工事实施設設計委託料) 		
点検評価及び 説明	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる		
	○耐震基準を満たさない体育室を解体し、同程度のコミュニティ体育館を建設したことで、中心市街地における体育施設として稼働率も高く、また、災害発生時の避難場所にもなることから、近隣住民の安心感にも結びつくなど大きな効果を発揮している。		
今後の課題及び 改善策・方向性	○市内全地域に多数の体育施設があるが、老朽化等により修繕箇所や修繕費用が毎年増加し、昨今では対応しきれない状況が続いている。一方で交付税の逡減が開始されることから、より財政的に厳しく予算措置が困難になってきているので、今後は緊急性や安全性、利用頻度の観点等から修繕を必要とする施設の優先順位による整備が求められてくる。		
学識経験者の意見	<p>○予定通り、工事を実施できたことは評価できる。</p> <p>○市の財政も厳しいとは思いますが、市民の健康・安全のためにも既存施設の環境整備を計画的に努めていただきたい。</p>		

		分野	スポーツ振興部門
項目	(4) プロスポーツチームへの支援とチームとの連携によるスポーツ振興	担当課	スポーツ課
点検・評価対象事業名		・プロスポーツを通じたスポーツ振興事業	
事業の目的		<p>○ホームタウンとして、ブラウブリッツ秋田並びに秋田ノーザンハピネッツを支援するとともに、チームと連携して市民にプロスポーツ選手とのふれあいの場を提供し、夢を持ってスポーツに親しむことのできる態勢を整えるとともに、スポーツを通して地域の賑わいづくりや活性化を図る。</p>	
事業の実施状況		<p>○プロサッカーチーム「ブラウブリッツ秋田」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーム運営支援を、県・秋田市・男鹿市・にかほ市・本市で継続した。 ・ピッチバナー広告料として100万円を支出し支援。 ・サッカースクールの開催など地域貢献事業を展開。 <p>○プロバスケットボールチーム「秋田ノーザンハピネッツ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームゲーム開催にあたり、チームPRやボランティア募集、大会運営等に協力し、本市でのホームゲーム開催の定着を図る。また、プロスポーツの素晴らしさを多くの市民に直接肌で感じてもらう。 ・学校訪問やバスケクリニックの開催により、小学生などの子ども達にプロ選手との交流の場を提供。 	
点検評価及び説明	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる	
<p>○夢を持ちスポーツに取り組む子どもたちが、1ランク上の競技レベルに達するためには、プロ選手との直接交流が刺激になると考えている。また、プロの迫力あるプレーを間近で観戦することで、スポーツに親しむ市民は、目標設定や競技力向上に繋がる。さらに、観戦者はスポーツを観る楽しみを経験し、スポーツ振興の推進が図られるとともに、市全体の地域の賑わい創出に結びついた。</p>			
今後の課題及び改善策・方向性	<p>○ブラウブリッツ秋田：H26にはJ3加入となり、ホームゲーム開催の全てが秋田市会場となることから、今後は市内サッカー場との関わり方について、関係自治体とともに検討が必要。</p> <p>○秋田ノーザンハピネッツ：ホームゲームとしての由利本荘市開催を定着させるため、チームと連携を密にしながらbjリーグの開催を継続して誘致していく。</p>		
学識経験者の意見	<p>○プロスポーツは子どもたちに夢と希望を与え、大きな刺激となっており、今後もぜひ継続実施してほしい。</p> <p>○秋田ノーザンハピネッツのホームゲーム開催は、地域に活力を与えるためにも、ぜひ継続開催していただきたい。</p> <p>○プロスポーツ選手が学校訪問して子どもたちと交流している場では、子どもたちが目をキラキラさせて、非常に意欲的に取り組んでいる。今後も継続してほしい。</p>		

		分 野	文化振興部門
項 目	(1) 芸術文化の推進	担 当 課	文化課
点検・評価対象事業名	① 芸術鑑賞教室		
事業の目的	<p>○市内に在住する児童・生徒に対し、毎年芸術文化の公演等を鑑賞できるよう、その機会の拡大を図る。</p> <p>○本市立小学校児童および中学校生徒を対象に本物の舞台芸術の鑑賞機会を提供することにより、芸術を愛する心と豊かな情操を養うことを目的とする。</p>		
事業の実施状況	<p>○開催場所：カダーレ</p> <p>* 小学校下学年の部（1～3年生） 参加者数：1, 801人 ・開催期日：平成26年9月2日（火）～3日（水） 3公演 ・上演作品：影絵劇「三枚のおふだ」</p> <p>* 小学校上学年の部（4～5年生） 参加者数：1, 224人 ・開催期日：平成26年9月5日（金） 2公演 ・上演作品：音楽「ワンダーブラス」</p> <p>* 小学校6年生の部（劇団四季 こころの劇場） 参加者数：665人 ・開催期日：平成26年9月16日（火） 1公演 ・上演作品：ミュージカル「ふたりのロッテ」</p> <p>* 中学校の部（1～3年生） 参加者数：2, 078人 ・開催期日：平成26年9月11日（木）～12日（金） 3公演 ・上演作品：ライブ「ソウルマティックス」</p>		
点 検 評 価 及 び 説 明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる		
<p>○優れた公演、芸術作品を鑑賞することにより、芸術を愛する心と豊かな情操を養うことが期待される。</p> <p>○市内小学校15校、中学校11校の全児童・生徒を対象に鑑賞会を開催。</p> <p>○全校がカダーレに会し、本格的なホールでの鑑賞を経験する機会を設ける。</p>			
今後の課題及び 改善策・方向性	○継続開催に努める。		
学識経験者の意見	<p>○児童生徒全員が本物の舞台芸術を鑑賞できることは、芸術を愛する心と豊かな情操を養う点でもすばらしい体験であり、ぜひ継続実施していただきたい。</p> <p>○市内に居ながら、本物の芸術文化に触れることができる貴重な場であり、ぜひ続けていただきたい事業である。</p>		

		分 野	文化振興部門
項 目	(2) 文化財保護と活用の推進	担 当 課	文化課
点検・評価対象事業名	指定文化財修理事業		
事業の目的	○歴史を正しく理解するために欠くことのできない重要な文化財を保護し、将来へ確実に継承していくため必要に応じて修復措置を講じる。		
事業の実施状況	<p>○永泉寺山門保存修理事業（第二期工事）【県指定有形文化財】</p> <p>事業内容 ●基礎廻り修復 建物_をGLより600mm嵩上げし、礎石調査と脚柱調査を実施。 礎石調整：12基中6基嵩上げ、水抜孔設置 柱脚：12本中9本根継ぎ、9基鉛板設置 地覆：15本中6本交換、9本矧ぎ木</p> <p>●板壁修復 四面の板壁修理</p> <p>事業期間 平成26年5月12日～12月25日</p> <p>県・市補助事業 市補助事業関係 4/28 交付申請 5/12 交付決定 9/ 1 交付変更申請 9/ 8 交付決定変更 1/ 6 実績報告</p> <p>永泉寺山門修復委員会を組織 年間3回開催 指導助言 秋田公立美術大学教授 澤田 享氏</p>		
点 検 評 価 及 び 説 明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり	
	<input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる	
	○全事業が当初予定した計画どおりに完了した。 ○事業者が文化財の所有者または管理者であったため、行政と一体となって文化財の修理を実施し、一体となって文化財保護に取り組むことができた。 ○文化財として将来的に国指定を目指せる修復に心がけ、新材を使用する際は第二期工事によることが分かるよう焼印の押印、見え掛かりにについては古色塗り仕上げとした。		
今後の課題及び 改善策・方向性	○市民共有の重要な財産として、所有者と行政が一体となって管理を進め、保護措置を講じる。 ○一般公開・ライトアップ等、本市のシンボルとして意識付け、市民の文化財愛護思想の高揚に努める。		
学識経験者の意見	○文化財の保存修復は非常に大切なことであり、計画通り修復できたことは評価できる。今後とも所有者、行政一体となって保存に努めてほしい。 ○所有者の協力を得ながら、ライトアップや定期的な公開などを企画し、観光面での活用も図りながら、文化財保護の啓蒙を図ってほしい。		

		分野	文化振興部門
項目	(3) 文化施設の運営	担当課	文化課
点検・評価対象事業名	①郷土資料館の企画展		
事業の目的	○子どもたちや市民に郷土を学ぶ学習施設として開かれ、親しまれる資料館となるよう歴史・文化・民俗等の資料展示を行い、肌で感じる体験学習等を実施するとともに資料の調査収集にあたる。		
事業の実施状況	○資料館の連携を図り、資料等の調査収集に努めるとともに、各地域の特徴的な歴史・文化に焦点をあて企画展示・合同展示会を実施した。 ○衣服からみる暮らし展 4/23～7/13 入館者数445人（本荘） ○懐かしき音と機器展 8/2～10/19 入館者数236人（本荘） ○由利郡木堂会と犬養毅展 11/1～2/1 入館者数342人（本荘） ○本荘由利の画人展 4/1～6/30 入館者数1,564人（岩城） ○佐々木秀司・伊藤雅人 陶芸と書二人展 7/12～9/19 入館者数1,834人（岩城） ○菊地良爾画伯遺作展 4/10～2/8 入館者数9,391人（出羽） ○鳥海山をめぐる自然災害展 10/1～1/18 入館者数662人（矢島） ○由利本荘ひな街道展 2/7～4/6（市内資料館・美術館等で開催） ○町中ひなめぐり展 2/13～3/31（市内資料館等6館・各地域商店、個人宅等で開催）		
点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる		
	○入館者数については前年度より上回っている施設が多くみられたことで、企画展のテーマ設定が適正であった。 ○市民の関心の高さを窺うことができた。		
今後の課題及び改善策・方向性	○老朽化が進んでいる施設があり、市資料館協議会等で今後の施設運営について協議し、地域懇談会へ提言しながら検討を進めていく。由利資料館については、平成28年3月末で廃止する。（廃止条例を平成27年12月議会で可決） ○市内外への情報発信できる本市の特長を活かした企画展の計画を立案する。		
学識経験者の意見	○学校教育での活用を促進し、利用率の向上を図ってほしい。また、児童生徒が各地域の資料館の展示を巡回できるような企画も考慮してもらいたい。 ○運営に苦慮しているようだが、工夫しながら企画展の充実に努めてほしい。 ○いろいろと工夫しながら運営しており、入館者数も増えていることは評価したい。今後も引き続き運営にあたっていただきたい。		

		分野	文化振興部門
項目	(3) 文化施設の運営	担当課	文化課
点検・評価対象事業名	②美術館の企画展（亀田城佐藤八十八美術館）		
事業の目的	<p>○地域の文化芸術活動の場の充実を図り、市民が誇りと希望を持てる地域社会を実現するため、亀田城佐藤八十八美術館等を中心に日常生活の中で「芸術文化」を身近に感じられる環境づくりを進める。</p> <p>また、当美術館を活用した展示等による芸術鑑賞機会の増加を図り、広域的交流や学習体験の場となるように努める。</p>		
事業の実施状況	<p>○H25「由利本荘ひな街道」合同企画展 4月1日～4月7日、入館者数173人</p> <p>○「端午の節句飾り展」 4月26日～6月29日、入館者数643人</p> <p>○「佐々木良三・佐々木恭子作品展」 10月1日～1月11日、入館者数809人</p> <p>○「佐々木ひでお詩画展」 10月11日～12月27日、入館者数660人</p> <p>○H27「由利本荘ひな街道」合同企画展 2月13日～3月31日、入館者数1,675人</p>		
点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる	
	○郷土文化、及び郷土ゆかりの作家の作品紹介を大きな2本の柱として、各2本の展示を企画した。		
今後の課題及び改善策・方向性	<p>○市出身やゆかりの作家を紹介する機会を増やし、地域に根ざした展示を行うと共に特色ある豊かな地域性をアピールする。</p> <p>○ワークショップなどのソフト事業を加え、美術館の魅力を発信し、客層を広げていく</p>		
学識経験者の意見	<p>○各種企画展により美術館の魅力を発信し、芸術文化の振興に寄与していることは評価できる。</p> <p>○今後、天鷲村との連携を図りながら県内有数の美術館であることもPRしながら、一層の施設の充実に努めていただきたい。</p>		

		分野	教育環境整備部門												
項目	学校施設の整備	担当課	教育総務課												
点検・評価対象事業名	② 東由利中学校建設事業														
事業の目的	○統廃合を予定していない校舎、屋体棟の計画的な改築事業。市内の学校で一番古い中学校である東由利中学校は昭和45年の建築である。将来の改築工事を想定し耐震補強工事を一部施工に止めた。生徒の安全な学校生活確保のため改築を行うものである。														
事業の実施状況	<table border="0"> <tr> <td>○東由利中学校改築工事（建築主体）</td> <td>H25.8.9～H27.2.9</td> <td>1,100,751,600円</td> </tr> <tr> <td>○東由利中学校改築工事（電気設備）</td> <td>H25.8.9～H27.2.9</td> <td>154,350,000円</td> </tr> <tr> <td>○東由利中学校改築工事（機械設備）</td> <td>H25.8.1～H27.2.9</td> <td>118,194,600円</td> </tr> <tr> <td>○東由利中学校第1期外構工事</td> <td>H26.10.9～H27.5.29 (H27年度に繰越)</td> <td>41,322,960円</td> </tr> </table>			○東由利中学校改築工事（建築主体）	H25.8.9～H27.2.9	1,100,751,600円	○東由利中学校改築工事（電気設備）	H25.8.9～H27.2.9	154,350,000円	○東由利中学校改築工事（機械設備）	H25.8.1～H27.2.9	118,194,600円	○東由利中学校第1期外構工事	H26.10.9～H27.5.29 (H27年度に繰越)	41,322,960円
○東由利中学校改築工事（建築主体）	H25.8.9～H27.2.9	1,100,751,600円													
○東由利中学校改築工事（電気設備）	H25.8.9～H27.2.9	154,350,000円													
○東由利中学校改築工事（機械設備）	H25.8.1～H27.2.9	118,194,600円													
○東由利中学校第1期外構工事	H26.10.9～H27.5.29 (H27年度に繰越)	41,322,960円													
【学校施設環境改善交付金事業】															
点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる														
○改築工事は予定どおり年度内に完成し、卒業式も新しい体育館で行うことができた。新しい校舎への引っ越しも年度内に完了した。 ○外構工事は積雪のため、年度内に完成できず、繰り越すこととなった。															
今後の課題及び改善策・方向性	○将来的な小学校との併設時期については、なお検討の余地がある。 ○平成27年度は、引き続き外構工事を行うとともに、既存校舎解体工事と第2期外構工事を行う。														
学識経験者の意見	○予定どおり事業が進行しており、引き続き、解体工事や外構工事の完了に向け取り組んでいただきたい。また、将来的な小学校の改築については、地域の声を聴きながら取り組んでいただきたい。 ○生徒が安心して学校生活を送れるよう、今後も学校の施設整備に努めてほしい。														

		分野	教育環境整備部門						
項目	学校施設の整備	担当課	教育総務課						
点検・評価対象事業名	③ 道川・亀田小学校解体事業								
事業の目的	<p>○少子化が進む中で、本市でも児童生徒数の減少により複式学級や小規模学校が進行していることから「学校環境適正化計画」を策定し、計画に基づいて統廃合等を進め解消に努める。将来、本荘地域を除いた1地域1小学校・1中学校の構想を検討し進めていく。(統合後の空き校舎解体)</p>								
事業の実施状況	<p>○道川・亀田小学校解体工事实施設計業務委託</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: center;">H26. 5. 29～H26. 7. 31</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">2,905,200円</td> </tr> </table> <p>○旧道川小学校解体工事</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: center;">H26. 9. 11～H27. 2. 27</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">84,294,000円</td> </tr> </table>				H26. 5. 29～H26. 7. 31	2,905,200円		H26. 9. 11～H27. 2. 27	84,294,000円
	H26. 5. 29～H26. 7. 31	2,905,200円							
	H26. 9. 11～H27. 2. 27	84,294,000円							
点検評価及び説明	<p> <input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる </p> <p>○両校の解体工事の実施設計も完了し、道川小学校の解体工事については、予定どおりに完成することができた。</p>								
今後の課題及び改善策・方向性	<p>○平成27年度亀田小学校校舎の解体工事を行う。</p> <p>○亀田小学校の跡地活用と、旧松ヶ崎小学校校舎の活用が課題となってくる。</p>								
学識経験者の意見	<p>○予定どおり事業が進行したことは評価できる。引き続き、亀田小学校の解体工事に向け取り組んでいただきたい。</p>								

		分野	教育環境整備部門
項目	学校施設の整備	担当課	教育総務課
点検・評価対象事業名	④ 小中学校地震防災機能強化事業		
事業の目的	○小中学校の耐震化を引き続き行うとともに、天井等の非構造部材の落下防止対策を行うことにより、児童の安心・安全で快適な学校生活環境を確保する。		
事業の実施状況	<p>○小中学校天井等落下防止対策推進工事实施設計業務委託 H26. 11. 13～H27. 3. 23 3,400,920円</p> <p>○子吉小学校給食棟耐震診断業務委託 H26. 10. 22～H27. 3. 3 1,609,200円</p> <p>○西目中学校食堂棟耐震診断業務委託 H26. 10. 22～H27. 3. 3 1,760,400円</p> <p>○由利中学校格技場耐震診断業務委託 H26. 10. 22～H27. 3. 10 1,333,800円</p> <p>【学校施設環境改善交付金事業】</p>		
点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる	
○国の補助事業となる予定の工事に係る委託業務で、予定どおり完了した。			
今後の課題及び改善策・方向性	○平成27年度は各校の天井落下防止対策工事を行うとともに、耐震化については、実施設計と耐震補強工事を行う。		
学識経験者の意見	<p>○天井落下防止対策に向けた設計業務委託と耐震診断業務が予定通り実施できたことは評価できる。</p> <p>○今後も、緊急性、安全性を第一に、計画的に施設の改修や維持管理に努められたい。</p>		

		分野	教育環境整備部門												
項目	学校施設の整備	担当課	教育総務課												
点検・評価対象事業名	⑤ 学校施設改修事業														
事業の目的	○経年劣化の著しい校舎及び施設設備の改修等により、児童及び生徒の安心・安全で快適な学校生活環境を確保する。														
事業の実施状況	<table border="0"> <tr> <td>○本荘北中学校体育棟改修</td> <td>H26. 9. 19～H27. 1. 15</td> <td>50,883,120円</td> </tr> <tr> <td>○鳥海中学校暖房機交換工事</td> <td>H26. 6. 26～H26. 8. 20</td> <td>14,277,600円</td> </tr> <tr> <td>○鶴舞小学校給食棟改修工事</td> <td>H26. 6. 27～H26. 8. 19</td> <td>5,559,840円</td> </tr> <tr> <td>○由利中学校階段昇降機設置工事</td> <td>H26. 11. 20～H27. 1. 13</td> <td>4,536,000円</td> </tr> </table>			○本荘北中学校体育棟改修	H26. 9. 19～H27. 1. 15	50,883,120円	○鳥海中学校暖房機交換工事	H26. 6. 26～H26. 8. 20	14,277,600円	○鶴舞小学校給食棟改修工事	H26. 6. 27～H26. 8. 19	5,559,840円	○由利中学校階段昇降機設置工事	H26. 11. 20～H27. 1. 13	4,536,000円
○本荘北中学校体育棟改修	H26. 9. 19～H27. 1. 15	50,883,120円													
○鳥海中学校暖房機交換工事	H26. 6. 26～H26. 8. 20	14,277,600円													
○鶴舞小学校給食棟改修工事	H26. 6. 27～H26. 8. 19	5,559,840円													
○由利中学校階段昇降機設置工事	H26. 11. 20～H27. 1. 13	4,536,000円													
点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる														
	○工事の完成により、児童及び生徒の安心・安全で快適な学校生活環境を確保することができた。														
今後の課題及び改善策・方向性	○各学校において改修を要する施設・設備について、年次計画を策定し、予算確保に努める。														
学識経験者の意見	○緊急的な修繕対応などを含め、適切に事業を遂行できたと認められる。 今後も、児童、生徒の安全を第一に、学校施設の改修と維持管理に努めていただきたい。														